

ぼくより重い!

ジャンボかぼちゃの栽培

札幌市立屯田小学校 内山敏之

栽培活動は、子どもたちにとって長期的に、上手にかかわらなければならない難しい活動の一つです。そこで、活動意欲の持続をねらって「食べられる」学習材を求めることが多くなりますが、「食べられない」学習材にも魅力あるものがあります。

簡単に育てられ、しかも、グングン大きく育て成長過程がつぶさに見られ、栽培意欲を次々と引き出すジャンボかぼちゃの栽培をお薦めします。

栽培意欲を引き出すワンポイント

折に触れて、画用紙などでジャンボかぼちゃの形をつくり、成長の様子を目に見えるようにする。砂袋や粘土などを利用して重さを体感できるようにする。…などの環境構成に心掛けてみてはいかがでしょうか。

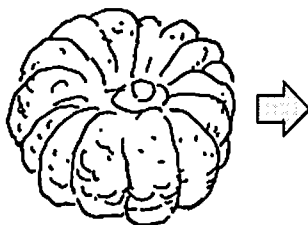
○月○日

(野球ボール
くらいだよ)



×月×日

(ドッジボール
くらいだよ)



数か月にわたって栽培してきたジャンボかぼちゃ。ズシンとした重さを感じた子どもたちは、ハローウィンのかぼちゃのように細工するなど、新たな活動意欲を沸き立たせることでしよう。

